

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに初春をお迎えのことと存じます。日頃より後援会をはじめとする地域の方々には、市政活動に温かいご理解とご協力をいただいておりますことを深く感謝申し上げます。

昨年10月の衆議院選挙の結果についてはご承知のとおりですが、子育て世代や子どもたちに投資することで、高齢者も若者も安心して生活できる社会制度を改革することが評価される一方、待機児童対策や保育士の待遇改善を優先すべきとの声も根強く、予算配分や優先順位に疑問を抱く声もありそうです。

高崎市では、4月の高崎アリーナ開館、秋には高崎オーパ開店、周辺商業施設の改修などにぎわいを増しています。今後も、東口では文化芸術センターや大型マンションの整備など新しいまちづくりは進むことでしょう。

このような時代だからこそ、安全でずっと住み続けたいまちづくりができるよう、課題と魅力を研究し、市民の皆さまの声に耳を傾け、実情を理解しながら、初心を忘れず全力で議会活動に取り組みますので、ご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

12月市議会定例会報告

平成29年第5回市議会定例会は、11月29日から12月13日までの15日間の会期で開かれました。本定例会では、請負契約締結について（高崎市立箕輪小学校校舎改築第1期工事）、公の施設（高崎サウンド創造スタジオ）の指定管理者の指定について、くらぶち英語村設置及び管理に関する条例の制定について、平成29年度高崎市一般会計補正予算（第5号、第6号）及び特別会計補正予算議案などの審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

なお、一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ8,084万円を追加し、総額1,730億2,945万円となります。

総務教育常任委員会での質疑について！

12月7日午前10時から開催された常任委員会では、付託された議案等について質疑を行いました。教育費の小中学校管理経費の校舎等補修・整備工事は、台風21号で雨漏りなどの被害をうけた学校の補修費です。新年度予算においても各現場から情報を集め、タイムリーな対応を要望させていただきました♪♪



十二月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十四人の議員が行い、高橋みなおは、一日目に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

第7期介護保険事業計画と地域包括ケアシステムについて

【質問】 新年度からスタートする「第7期介護保険事業計画」では、地域の実情に合わせた地域包括システムを推進するための地域マネジメントの重要性も問われていると認識している。介護予防等のサービスを重点的に充実させることが問われているが、どのような方針で取り組むのか。

【答弁】 団塊の世代が七十五歳以上となる2025年を見据えて策定している。制度の持続可能性を考慮した質の高い介護サービスの推進などを主要な柱として策定したい。

【質問】 計画策定が同時となる県の保健医療計画等との整合性も問われているが、医療介護連携相談センターも設置している本市では、どのように推進するのか。

【答弁】 相談センターでは、地域の医療介護関係者や地域包括支援センター等の専門職か

らの相談対応や調整を図る役割を担っている。今後も医師会や医療機関、介護関係団体と連携を図りながら事業を推進したい。

【質問】 地域包括ケアシステムの構築は、地域の支え合いにより成り立つが、協議体の設置や居場所づくりの現状は。

【答弁】 協議体を設置する生活支援体制整備事業は高齢者あんしんセンターが担当する地域を一つの単位として発足した。「ふれあい・いきいきサロン」などで活発な活動を実施し、拠点となる居場所については補助制度を設け、活動を支援している。

【質問】 高齢者あんしんセンターの適正配置という視点からもセンターのあり方が問われているが見解を。

【答弁】 「待つ福祉から出向く福祉へ」を合言葉に地域への積極的な訪問活動を展開するなど、高齢者に寄り添った支援を実施する。

都市計画決定済み区画整理事業の今後について

【質問】 土地区画整理事業は、健全な市街地の造成を図る事業手法として、都市整備上中心的な役割を果たしてきた制度であり、施行済、施行中、都市計画のみ、施行予定と区分けできるが、本市の現状と都市計画決定済みの区画整理事業の方向性についてはどのように考えるか。

【答弁】 三十七地区で事業完了、施行中が十二地区である。未着手は、中央地区を含む二地区で長期未着手である。事業区域の現状把握や課題の再整理を行い、見直しを含めた調査研究を進めていきたい。

【質問】 中央地区は民間活力で老舗ホテルが存続されることになり、地域の衰退に歯止めがかかりその意義は大きい。行政としての支援や課題も含め、官民協働した中央地区のまちづくりに取り組むべきと考えるが見解を。

【答弁】 今後、耐震設計、耐震工事を行う予定である。国・県・市で積極的に工事等の補助を行い、事業者負担の軽減を図り、完成後は中央地区の防災拠点として地区のまちづくりに取り組んでいく。

♪ 後記 ♪

飛鳥 奈良時代に建てられた石碑群「上野三碑」が二十九年十月にユネスコの「世界の記憶」に登録決定されたことは、本市にとって大変喜ばしい名誉な出来事でした。五年を超える地域住民を中心とした活動が実を結び、高崎の宝から世界の宝になったと言えるでしょう。今後も道路や駐車場整備を進めるとともに、子どもたちへの周知や教育へ力を注ぎ、地域の観光資源として継続的に活用していくことが求められることでしょう。東部地区も五霊神社をはじめ貝沢の獅子舞など歴史の価値や住民の関心の高い地域です。今年は、新たな地域の宝を探してみませんか！